

野々市市の絵馬

絵馬は、神仏への祈願や、それが成就された時の感謝のために奉納するものです。

野々市市内の神社には多くの絵馬が奉納されており、その数はおよそ200点にのぼります。

市内の絵馬の内容は、馬を描いたものが約半数あります。次いで荒川神社の絵馬のように軍記物語や仏教説話などをテーマにした物語絵が全体の約1割を占めます。



神馬図絵馬（中林 春日神社所蔵）

縦111 cm×横152 cm

黒馬が描かれた絵馬で、右に弘化二年（1845）の奉納年が書かれています。黒い馬は雨を、白い馬は日光を祈願したといわれています。

聖徳太子一代記図絵馬

（本町 布市神社）

縦112.5 cm×横319.9 cm

聖徳太子の誕生から三十三歳までの半生を描いています。

狩野派の絵師、福島秀川によって描かれ、嘉永二年（1849）に奉納されました。

